



観武

交流及び共同学習

岩手県では、平成24年度から小中学部を設置するすべての県立特別支援学校において交流籍を活用した交流及び共同学習を進めています。居住する地域の小中学校に副次的な籍である「交流籍」を置いて居住地校交流を行うものです。本校小学部では今年度、児童数の57%の36名の交流希望者がありました。同じく本校中学部では、生徒数の27%の13名の交流希望者があり実施をしているところです。

交流及び共同学習は、「共に学び、共に育つ」理念のもとに同じ地域に住む子どもたちとの活動を通して、児童生徒を知っていただき理解を深めていただいたりするよい機会です。また、新たな出会いや発見も期待できます。今後も、交流籍を活用した交流及び共同学習について、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

	小学部 (R6)	中学部 (R6)
希望者数	36名 (児童数63名)	13名 (生徒数48名)
実施地域	盛岡市、滝沢市、 八幡平市、雫石町	盛岡市、滝沢市、 八幡平市、雫石町

【今年度の交流の様子】



児童の感想 (小学部)：ミニ運動会や制作活動と一緒にすることができて楽しかったです。休み時間も校庭で一緒に遊べて嬉しかったです。



生徒の感想 (中学部)：ハロウィンの工作が楽しかったです。作った飾りを皆に見せてあげたいと思い、リビングに自分で飾りました。



保護者の感想 (小学部)：友達が覚えてくれて一緒に遊ぶことができた。とても良い経験になった。一年に一度の交流でも、地域の友達と関わり、覚えてもらうことは、大切なことだと思った。

保護者の感想 (中学部)：普通級支援級ともに楽しく交流でき良かったです。先生方の的確なリードのおかげでトラブルなく過ごせました。スムーズな交流が出来るよう工夫して計画して下さいありがとうございました。

※写真と児童生徒・保護者の感想は、関連するものではありません。



みたけ支援学校ホームページ
 トップページQRコード

奥中山校

今年度は一戸町の奥中山中学校、八幡平市の大更小学校と寺田小学校、葛巻町の小屋瀬小学校、岩手町の川口小学校と一方井中学校と交流籍を活用した交流及び共同学習を行いました。引率した職員から「昨年より落ち着いて、楽しんでいる様子がみられた」と報告を受けました。毎年交流を積み重ねることで、児童生徒の心の成長がみられます。このような「つながり」をもつことで、児童生徒の地域での生活が豊かになっていくのだと感じさせられる交流学习でした。

交流の様子



保護者の感想

顔見知りの子ども達もいて、温かく受け入れてもらい嬉しかった。来年度も継続して交流したい。

先生方や同学年の友達にたくさん声を掛けてもらい、楽しそうに交流できていたので良かった。

担任の感想

交流校のみなさんが授業や関わり方を工夫してくださったので、本校児童は楽しい雰囲気の中で交流することができました。「共に学び共に育つ、交流ができました。」

二戸分教室



小学部は伊保内小学校、晴山小学校、御辺地小学校、金田一小学校の4校と交流籍を活用した交流及び共同学習を実施しました。御辺地小学校での交流を行った児童の場合、コロナ禍で途中、ビデオレターのやり取りをしていた時期もあったのですが、5、6年時は直接交流ができ、一緒に活動できる喜びを味わえたようです。やはり6年間、交流してきた成果があり、分教室の児童が、交流した学校の地域において



生活していることを知っている小学校の児童もいたようで、終始、温かい雰囲気での交流できたようです。

また1年児童の場合、慣れない場所での活動に戸惑いが隠せなかったものの、就学前から知っている友達のおかげで、その日初めて会う友達とも一緒に学習時間を過ごすこ

とができたようです。いずれも継続的な交流学习を行う中で、自然な関わりが育まれていました。

中学部3年生の生徒は安代中学校との交流籍を活用した交流及び共同学習を継続して実施してきました。大きな行事（文化祭）への参加となったことから、特定の生徒と活動の合間を縫

いながらの交流となったようです。分教室の修学旅行の様子紹介を作成し、持参したことで、一緒に見ながら話をすることができたとのことでした。

保護者の方からは、「中学校の素晴らしい作品展示を見たり、全校合唱を聴かせていただいたりしながら交流することができました」とのお声をいただきました。

